

[2000/2001]九州大学附属図書館要覧

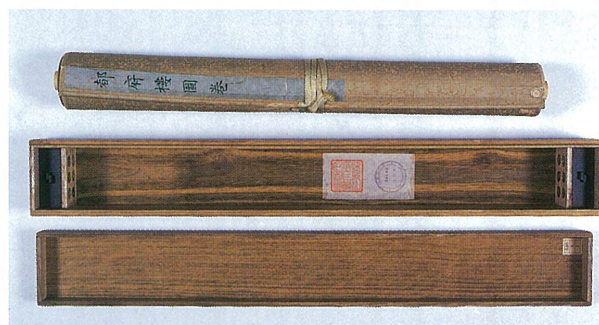
<https://hdl.handle.net/2324/2556642>

出版情報：九州大学附属図書館要覧. 2000/2001, pp.1-, 2000. Kyushu University Library
バージョン：
権利関係：



九州大学附属図書館要覧


$$2000 - 2001$$



「都府樓図巻」一巻、桐箱

〔表紙写真解説〕

「都府樓図巻」一巻（附属図書館所蔵）

この絵巻は太宰府政庁を中心として左右に大厦高閣、寺社の建物を並べ、府の繁盛の姿を想像して画いたものである。図は墨絵に着色したもので、東は安楽寺、宝満宮より、西は国分寺、水城などを描いている。

都府樓の東には観世音寺、聖廟（学業院）がある。建物の配列には実を伝えたものもあるが、部分的には単なる想像で描かれた所も多い。すべて殿堂中心であるが、近世中国風の建物や風景が加味され、全体として江戸以前に溯らせることは難しい。

この図はもともと写しで、これとよく似た模写図が日田市の後藤家にもあったが、今所在を失している。

附属図書館本には、巻末に「筑紫考之言葉」という一文がついている。「深江の僧慧源しるす」と末尾にあるが、文の内容は直接図とは関係なく、筑紫の沿革や語源などの考証である。僧慧源の伝記も明らかでないが、いずれ近世末の書体で、模写の年代もその頃であろう。

館長あいさつ

平成11年度には、自己点検・評価報告書「図書館の現状と課題」を刊行しました。その報告書に収録されたこの5年間の各種のデータから、附属図書館に関する様々な動きがみてとれます。情報技術の進展に直接的に影響されたものや為替レートの変動の影響を受けたものもあります。また、こうした情報化によって促進された伝統的な図書館利用も見受けられます。

平成12年4月には、情報関連施設の統合と附属図書館等からの定員振替え等によって、情報基盤センターが設置されました。これによって、懸案の電子図書館機能の拡充・強化が、理想的な形で実現できることになりました。センター内に新設された電子図書館掛と電子情報サービス掛を中央図書館及び医学分館に配置することによって、センターと図書館の間の緊密な連携が可能になり、電子的図書館資料の作成・発信、収集・配信といった情報社会・ネットワーク社会における大学図書館に期待される新しい図書館サービスのための基盤ができました。

開学記念行事に併せて毎年開催している貴重文物展観と公開講演会は、今年は、人文科学研究院の今西裕一郎教授にお願いしました。テーマは平安朝文学です。約1000年前の文学が、書写という作業とその後の出版活動によって、幾多の困難を乗り越えて今日まで伝えられてきたわけですが、今西教授の努力によって、そのいくつかについてはカラー画像としてデータベース化され、広く学習・研究の資料として利用できるようになりました。

専任の助教授1名を配置して頂いた研究開発室では、上記のデータベースを始めとする各種のデータベースの作成やイメージによる図書カードの検索システム開発、外国の図書館の調査等、様々な活動を展開し、多くの特色ある成果をあげています。また、主に留学生のために母国の衛星放送が受信できる装置を配備しました。組織面では、理学部等図書掛と農学部図書掛を統合・一元化し、業務の一層の効率化を計りました。さらに、本年度からスタートした大学の新しい予算制度のもとでの図書館の図書資料の調達・整備・充実や所在情報の遡及入力等に関連した提案をしてきました。既に全学的な理解が得られ、実施を待つばかりになっているものもあります。附属図書館が取組むべき具体的な短期・中期・長期目標も定めました。

このように、快適な学習図書館機能と充実した研究図書館機能を実現し維持するために、図書館職員一同、様々な努力を続けています。皆様の一層のご理解とご支援をお願いいたします。

九州大学附属図書館長

有 川 節 夫

◇ 目 次 ◇

沿 革 (抄)	2	学内所蔵主要文庫	21
歴 代 館 長 等	4	大型コレクション	24
組 織 図	6	図 書 館 公 開	27
図 書 館 案 内	7	各 種 統 計	30
図書館情報システム	16	配 置 図	32
研 究 開 発	20	案 内 図	33

沿革（抄）

明治36. 4	京都帝国大学福岡医科大学創立。 蔵書数2,011冊。				マニュアルによる SDI サービスを開始。
42. 9	附属図書館が設置され、閲覧業務を開始。	49. 1			旧図書館3,034㎡を「全学保存図書館」として運営開始。
44. 1	九州帝国大学創立。 工科大学開設。	. 6			中央図書館での時間外開館開始。
. 4	医科大学開設（京都帝国大学福岡医科大学が移行）。	51. 9			教官に対する学内共通帯出券の発行。
大正11. 5	九州帝国大学附属図書館設置。	52. 4			中央図書館で全学購入外国雑誌の一括予約手続きを開始。
. 7	初代館長任命。図書館の事務室を医学部構内に設置。	. 7			文部省から医学分館が、 医学・生物学系外国雑誌センター館 の指定を受ける。
13. 9	法文学部が箱崎地区に設置され図書室を置く。	54. 3			医学分館で JOIS 文献検索サービスを開始。
14. 6	箱崎地区に中央図書館と書庫が竣工し、医学部構内から移転。 鉄筋コンクリート2階建、総延面積1,079㎡、書庫4階建、総延面積1,346㎡、蔵書数約3,500冊。	55. 3			教養部分館新館が竣工。 鉄筋コンクリート3階建、総延面積5,155㎡。
昭和8.	九州帝国大学図書目録刊行（和・洋書編）、以下追録続刊。	. 4			教養部分館開館。
22. 10	九州帝国大学は九州大学に改められ、図書館も九州大学附属図書館と改称。医学部中央図書室設置。	56. 1			北部九州地区国立六大学図書館間機械化ネットワーク構想にもとづく業務電算化のため、 中央図書館に電算機を導入し、地区センター として業務を開始。
31. 5	医学部図書館新館が竣工。 鉄筋コンクリート3階建、書庫5層、総延面積2,802㎡。	. 4			中央図書館で JOIS・DIALOG の文献検索サービスを開始。
. 7	附属図書館医学部分館設置。	. 11			医学分館新館が竣工。 鉄筋コンクリート3階建、総延面積4,216㎡。
. 10	文献複写業務開始（マイクロフィルム）。	57. 2			医学分館開館。
34. 3	附属図書館教養部分館設置。	58. 4			中央図書館に学術情報課が設置され、3課10掛となる。
37. 4	開架閲覧室の開設。	. 9			中央図書館に整理課長補佐が配置される。
. 8	指定図書制度の導入。	. 10			医学分館に図書館専門員が配置される。
39. 1	コンテンツシート・サービスを開始。	59. 10			中央図書館に閲覧課図書館専門員が配置される。
40. 4	部課制がしかれ1部2課（整理課・閲覧課）7掛となる。	61. 12			学術情報センターと接続。
. 9	「図書館情報」の創刊。	62. 10			中央図書館の書庫増築（5,116㎡）。 総延面積13,176㎡。
42. 9	学内総合目録室の開設。	63. 4			整理課が情報管理課に、閲覧課が情報サービス課に、学術情報課が情報システム課に、課名変更される。
45. 4	医学部分館が医学分館に名称変更。	. 6			学術情報センターに目録データ入力開始。
47. 11	中央図書館新館が竣工。 鉄筋コンクリート3階建、総延面積8,060㎡。	平成元. 2			学術情報ネットワークシステムのため FAX（G4）を設置。
48. 3	中央図書館閲覧業務を開始。理学部・農学部の図書資料を中央図書館へ搬入開始。	2. 6			中央図書館に国際交流コーナー開設。
. 4	理学部・農学部ともに閲覧業務を開始。医学部では、Index Medicus を使用し、	3. 4			中央図書館に入退館システムを導入。

- 4. 4 OPAC サービス開始。
- . 4 NACSIS-ILL システム運用開始。
- . 10 新キャンパスにおける新図書館構想の検討を開始（新キャンパス計画専門委員会情報・図書ワーキング・グループ設置、平成10年5月まで）。
- 6. 1 学内 LAN (KITE) による OPAC サービス開始。
- . 3 自己点検・評価報告書「九州大学附属図書館現状と課題」を刊行。
- . 4 教養部分館を**六本松分館**と名称変更。
- . 4 医学分館・六本松分館に入退館システム導入。
- . 9 附属図書館将来構想に関する検討委員会設置。
- 7. 4 医学分館に磁気カードによる24時までの無人開館開始。
- 8. 4 北部九州地区大学図書館機械化ネットワークを解消し、北部九州地区国立大学図書館学術情報ネットワーク連絡会を設置。
- . 4 新電算機システム運用開始。
- . 4 CD-ROM サーバによるデータベースのネットワークサービスを開始。
- . 4 **附属図書館研究開発室**を設置。
- . 4 情報システム課に図書館専門員が配置される。
- . 4 事務組織の改編を行い、情報管理課は「庶務掛、会計掛、図書情報掛、雑誌情報掛」に、情報システム課は「データベース掛、電子情報掛」に、医学分館は「受入目録掛、閲覧掛、相互利用掛、参考調査掛」とした。
- . 4 九州地区国立大学附属図書館協議会に電子化推進連絡会議を設置。
- . 7 週及入力事業を開始。
- . 9 附属図書館商議委員会で「電子図書館構築計画」を策定。
- . 11 新図書館情報システム稼働。
- . 11 附属図書館電子化事業開始。(本学の研究成果情報及び附属図書館所蔵の貴重図書の全文、画像データベースの構築等)
- 9. 4 中央図書館、六本松分館の**休日開館**を実施。
- . 4 電子化事業の一環として平成9年度中

- に次のデータベースを公開。
- 「ESAKIA」
- 「Collected Papers」
- 「九州大学研究者総覧」
- 「国文学画像資料データベース」
- 「17-18世紀国際法史・国制史コレクション」
- . 5 法制史文献・画像データベース作成事業開始（科学研究費補助金）。
- . 6 「檜垣文庫目録の編纂・刊行事業」が平成9年度国立大学図書館協議会賞受賞。
- 10. 2 データベースの大学間共同利用のための地域共同サーバを設置。
- . 3 附属図書館データベース検討専門委員会設置。
- . 4 医学分館の休日開館実施。
- . 6 「生命科学分野欧文研究論文業績二次資料による情報発信活動」が平成10年度国立大学図書館協議会賞受賞。
- 11. 1 Web of Science のサービス開始。
- . 3 大韓民国ソウル大学校中央図書館と交流協定を締結。
- . 4 中央図書館と工学部中央図書室に情報サロン図書館分室、工学部分室を開設。
- . 7 平成11年度教官運用定員により、助教授を採用、附属図書館研究開発室勤務となる。
- 12. 4 理学部等・農学部図書掛の中央図書館への事務一元化により組織改編を行い、3課11掛となる。(図書情報掛が図書情報第一掛、同第二掛へ、閲覧掛が情報サービス第一掛、同第二掛となる)
- . 4 情報基盤センターの組織改編により中央図書館及び医学分館へ、附属図書館分室電子情報サービス掛、電子図書館掛が配置される。
- . 4 中央図書館にマルチメディア掲示板(100インチ)を設置。
- . 4 中央図書館に情報サロン用端末の増設、医学分館、六本松分館及び筑紫地区ビスタホール閲覧室等に情報サロン分室を開設。
- . 4 学術情報発信事業の拡充。
- . 4 中央図書館に海外衛星放送受信設備を設置。
- . 5 筑紫地区に筑紫中央図書室を開設。

歴代館長等

1. 附属図書館長

小川政修	医学部教授	大正11. 7. 17~大正14. 4. 20
長壽吉	法文学部教授	14. 4. 20~昭和2. 5. 27
佐久間鼎	〃	昭和2. 5. 27~ 4. 6. 18
長壽吉	〃	4. 6. 18~ 6. 7. 11
豊田實	〃	6. 7. 11~ 9. 2. 23
西山重和	〃	9. 2. 23~ 11. 3. 2
春日政治	〃	11. 3. 2~ 13. 4. 2
佐野勝也	〃	13. 4. 2~ 15. 4. 18
干潟龍祥	〃	15. 4. 18~ 17. 4. 20
竹岡勝也	〃	17. 4. 20~ 19. 5. 18
楠本正繼	〃	19. 5. 18~ 21. 6. 4
進藤誠一	〃	21. 6. 4~ 23. 6. 15
金田平一郎	法学部教授	23. 6. 15~ 24. 10. 7
進藤誠一	事務取扱文学部教授	24. 10. 7~ 24. 12. 20
古野清人	文学部教授	24. 12. 20~ 28. 12. 23
栗村雄吉	経済学部教授	28. 12. 23~ 32. 12. 23
青山道夫	法学部教授	32. 12. 23~ 36. 12. 23
北川敏男	理学部教授	36. 12. 23~ 42. 12. 22
伊藤不二男	法学部教授	42. 12. 22~ 45. 2. 8
高木暢哉	経済学部教授	45. 2. 9~ 48. 2. 8
松浦良平	理学部教授	48. 2. 9~ 49. 7. 16
田中武英	工学部教授	49. 7. 16~ 52. 7. 15
岡村繁	文学部教授	52. 7. 16~ 55. 7. 15
塚原博	農学部教授	55. 7. 16~ 58. 7. 15
高野桂一	教育学部教授	58. 7. 16~ 61. 7. 15
平嶋義宏	農学部教授	61. 7. 16~平成元. 3. 31
市村昭三	経済学部教授	平成元. 4. 1~ 4. 3. 31
村上幸人	工学部教授	4. 4. 1~ 7. 3. 31
小山勉	法学部教授	7. 4. 1~ 10. 3. 31
有川節夫	システム情報科学研究院教授	10. 4. 1~

2. 司書官・事務長・事務部長

司書官	竹林熊彦	大正14. 6. 29~昭和14. 10. 11
	動柄和太郎(兼)	昭和2. 1. 29~ 2. 1. 31
	竹岡勝也(兼)	3. 8. 18~ 4. 6. 21
	武藤智雄(兼)	3. 8. 18~ 15. 9. 18
	田中鐵三(兼)	14. 8. 14~ 14. 8. 15
	櫻井匡(事務取扱)	14. 11. 8~ 15. 2. 24
	櫻井匡	15. 2. 24~ 22. 7. 21
	清川陸男	16. 3. 26~ 16. 3. 27
	長澤由次郎	22. 7. 10~ 25. 2. 28
	岩猿敏生	25. 8. 5~ 31. 4. 1

事務長	船越惣兵衛	昭和24. 10. 30～	40. 3. 31
事務部長	船越惣兵衛	40. 4. 1～	44. 3. 31
	山崎正	44. 4. 1～	45. 3. 31
	中村譲	45. 4. 1～	53. 4. 1
		(昭和50. 6. 16～53. 4. 1休職)	
	長尾公司	昭和50. 6. 16～	52. 3. 31
	岡田六郎	52. 4. 1～	54. 3. 31
	沙藤隆茂	54. 4. 1～	56. 3. 31
	養輪武	56. 4. 1～	58. 3. 31
	岩井昭三	58. 4. 1～	60. 3. 31
	砂本眞	60. 4. 1～	63. 3. 31
	吉岡千里	63. 4. 1～	平成2. 3. 31
	相良侯秀	平成2. 4. 1～	4. 3. 31
	近藤禰男	4. 4. 1～	6. 3. 31
	辻英雄	6. 4. 1～	8. 3. 31
	熊谷俊夫	8. 4. 1～	11. 3. 31
	佐田忠鴻	11. 4. 1～	

3. 商議委員

(平成12年4月1日現在)

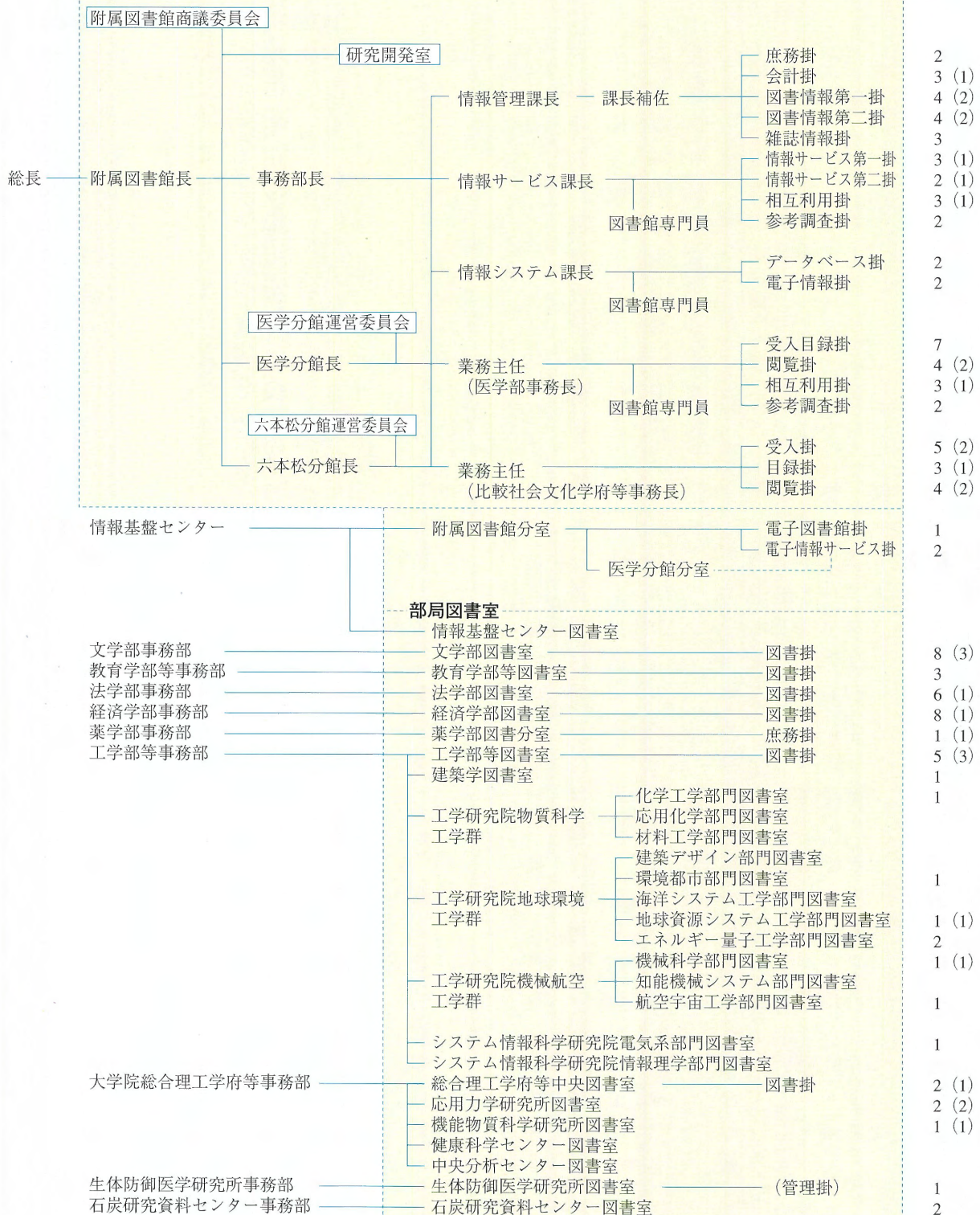
委員長	附属図書館長	有川節夫	医学研究院	教授	小宮山 莊太郎
委員	医学分館長	井上尚英	〃	〃	赤池 紀生
	六本松分館長	押川元重	歯学研究院	〃	坂井 英隆
	人文科学研究院 教授	安藤 保	〃	〃	前田 勝正
	〃	今西裕一郎	薬学研究院	〃	井本 泰治
	比較社会文化研究院	清水 展	〃	〃	古賀 登
	〃	菅 英輝	工学研究院	〃	新海 征治
	人間環境学研究院	田 篤誠一	〃	〃	桜井 晃
	〃	中留武昭	システム情報科学研究所	〃	迫江 博昭
	法学研究院	兒玉 寛	〃	〃	竹尾 正勝
	〃	植田 信廣	総合理工学研究院	〃	根本 紀夫
	経済学研究院	久野国夫	〃	〃	杉崎 昌和
	〃	堀江康熙	農学研究院	〃	横川 洋
	言語文化研究院	青山太郎	〃	〃	久原 哲
	〃	田島松二	生体防御医学研究所	〃	中山 敬二
	理学研究院	前田 悠	応用力学研究所	〃	今脇 資郎
	〃	森信俊平	機能物質科学研究所	〃	森 章
	数理学研究院	岩崎克則	健康科学センター	〃	藤野 武彦
	〃	吉川 敦			

組 織 図

(平成12年4月1日現在)

中央図書館及び分館

掛長及び掛員数



附属図書館の構成

区 分	事 務 部 長	課 長	課 長 補 佐	図 書 館 専 門 員	掛 長	掛 員 等	合 計
職 員 数	1 人	3 人	1 人	3 人	28 人	81 (31) 人	117 (31) 人

(注) 情報基盤センター附属図書館分室を含む。()は非常勤職員で内数

図書館案内

中央図書館



中央図書館は、全学の教職員・学生へのサービスを行うほか、学外及び学内の図書館活動の連絡・調整を行う。

施設

構造	鉄筋5階建
延面積	13,668m ²
書庫	4,800m ²
閲覧スペース	5,002m ²
事務スペース	2,565m ²
その他	1,301m ²
閲覧座席数	666席

開館時間

平日 9:00～20:00
ただし、4月の春季休業期
及び8月中は、
9:00～17:00
土・日曜、祝日（振替休日を含む）
10:30～18:00

休館日

- ① 年末年始
- ② 月の初日
(ただし、月の初日が土曜日、日曜日又は祝日のときは、その直後の開館日)
- ③ 曝書・図書点検期間（8月中旬の1週間）
- ④ 春季休業期及び8月中の土曜日、日曜日

電話及びFAX

(092) 642-内線番号（ダイヤルイン）
閲覧・貸出に関する問合せ 内線2337
レファレンスの問合せ 内線2338
文献複写の問合せ 内線2334
FAX (092) 642-2340 (G3)
981-1200 (G4)
庶務掛・会計掛
FAX (092) 642-2330 (G3)

所在地

〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号

一般市民等の利用

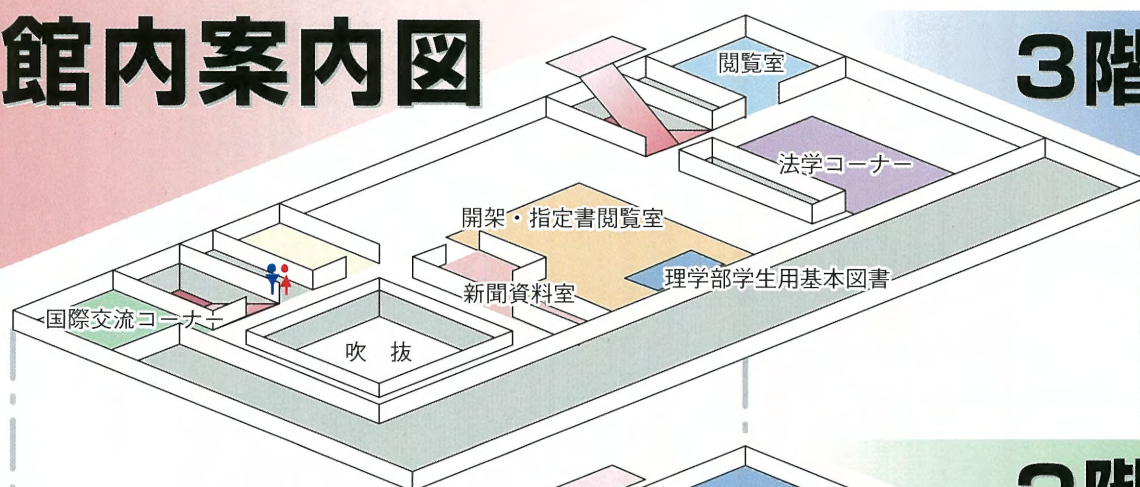
利用の範囲
館内閲覧
文献複写
レファレンス・サービス等

問合せ先

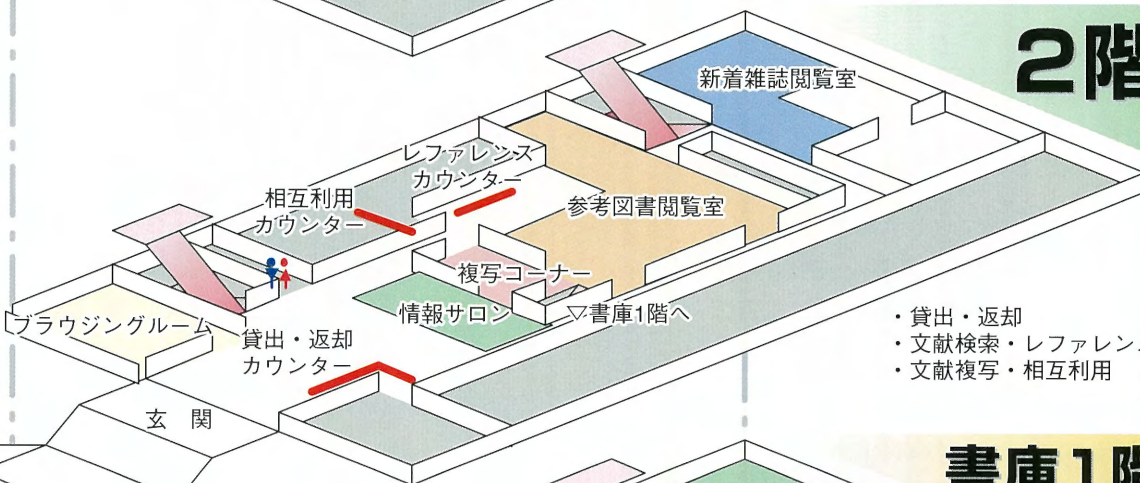
附属図書館情報サービス課情報サービス第一掛
電話 (092) 642-2333

館内案内図

3階

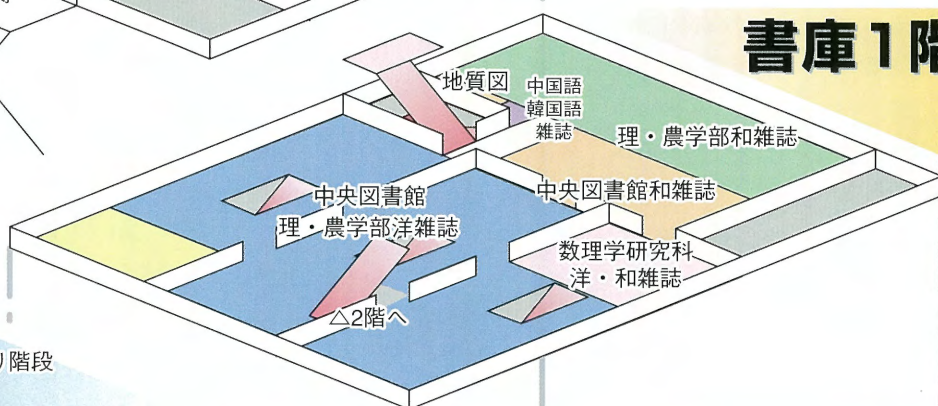


2階



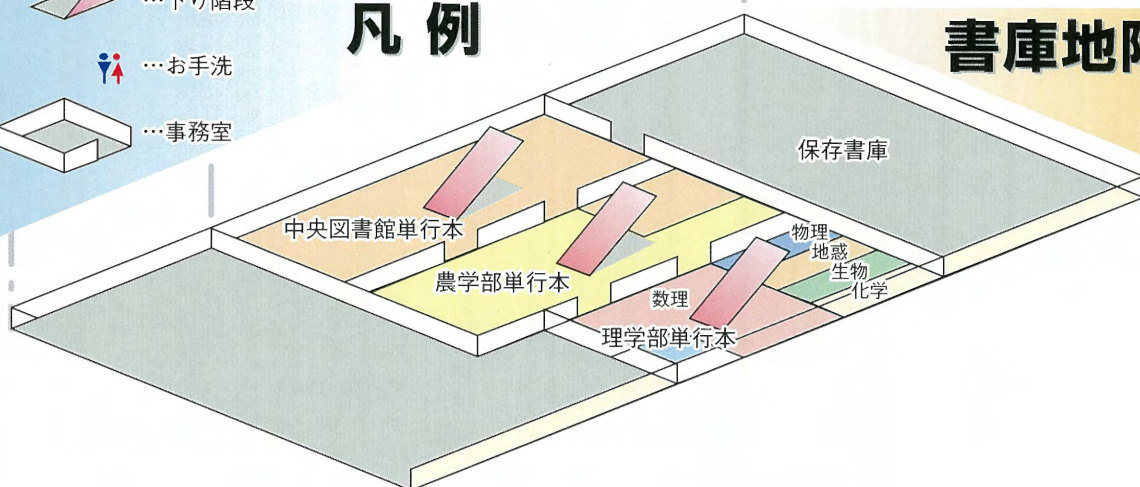
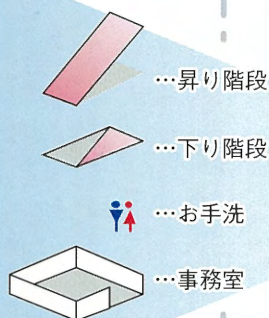
- ・貸出・返却
- ・文献検索・レファレンス
- ・文献複写・相互利用

書庫1階

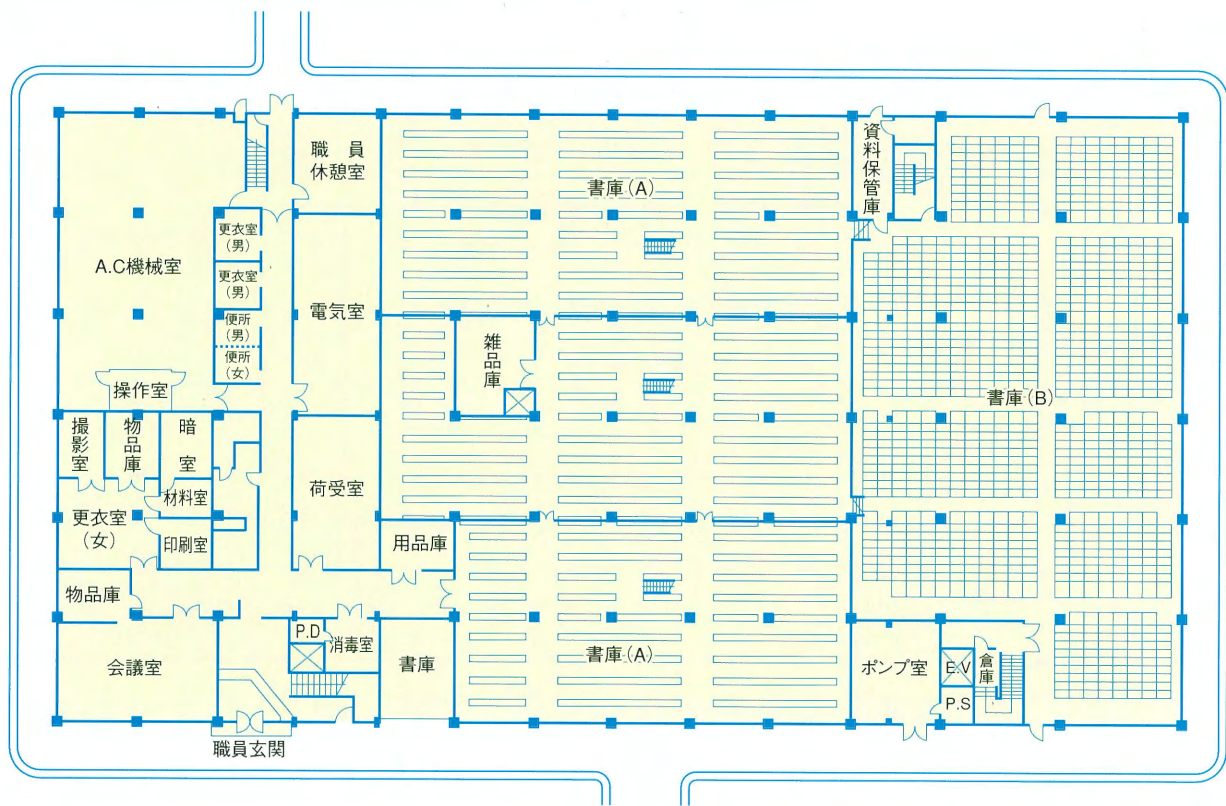


凡例

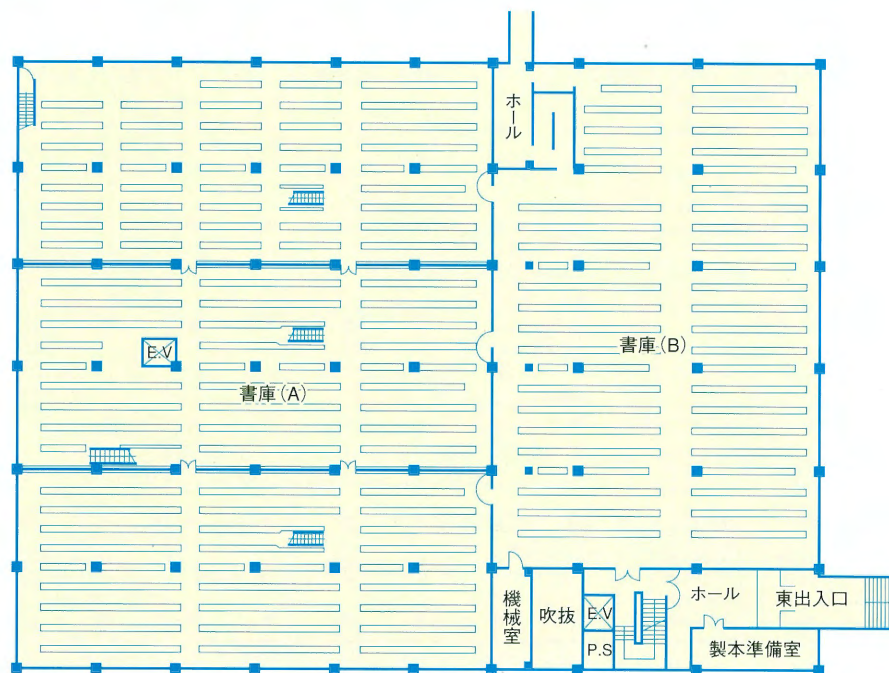
書庫地階



館内案内図



B 階 平 面 図



1 階 平 面 図

この図は、国会図書館2階のフロアプランを示しています。主要な部屋と機能は以下の通りです。

- 情報サービス課** (Information Service Section): 左上の大きな黄色いエリア。内部には「ブラウジングルーム」(閲覧室)、「P.D.」(読書スペース)、「階段室」(階段)、「便所(男)」、「便所(女)」(トイレ)、「身障者便所」(障害者トイレ)があります。
- 参考図書閲覧室** (Reference Book Reading Room): 中央上部の大きな黄色いエリア。内部には「レファレンスデスク」(参考図書デスク)があります。
- 新刊雑誌閲覧室** (New Book Reading Room): 右上の大きな黄色いエリア。内部には「新刊雑誌」(新刊雑誌)があります。
- 目録コーナー** (Catalog Corner): 中央の黄色いエリア。内部には「目録コーナー」(目録コーナー)、「情報サロン」(情報サロン)、「複写センター」(複写センター)、「情報検索コーナー」(情報検索コーナー)があります。
- ライトコート** (Light Court): 中央右側の黄色いエリア。内部には「ライトコート」(ライトコート)があります。
- 入館管理装置** (Entrance Management Device): 中央左側の黄色いエリア。内部には「入館管理装置」(入館管理装置)、「玄関ホール」(玄関ホール)、「ブックディテクション」(ブックディテクション)、「カウンター」(カウンター)があります。
- 情報サービス課** (Information Service Section): 左下の黄色いエリア。内部には「情報サービス課」(情報サービス課)、「P.D.」(読書スペース)、「E.V.」(読書スペース)、「用品室」(用品室)、「階段室」(階段)、「便所(女)」(トイレ)、「便所(男)」(トイレ)があります。
- 情報管理課** (Information Management Section): 中央下部の大きな黄色いエリア。内部には「情報管理課」(情報管理課)、「湯沸室」(湯沸室)、「課長室」(課長室)、「情報管理」(情報管理)があります。
- 機械室** (Mechanical Room): 中央下部の黄色いエリア。内部には「機械室」(機械室)があります。
- ホール** (Hall): 中央下部の黄色いエリア。内部には「ホール」(ホール)があります。
- 閲覧室** (Reading Room): 右下の大きな黄色いエリア。内部には「閲覧室」(閲覧室)、「E.V.」(読書スペース)、「P.S.」(読書スペース)、「書類保管庫」(書類保管庫)、「便所(女)」(トイレ)、「便所(男)」(トイレ)があります。

情報サービス課 情報サービス第一掛
情報サービス第二掛

情報管理課 課長補佐
庶務掛
会計掛
図書情報第一掛
図書情報第二掛
雑誌情報掛

国際交流コーナー

P.D. 階段室

便所(男) 便所(女)

特別閲覧室

開架・指定閲覧室

マイクロ資料室

閲覧室

休憩コーナー

演習室

演習室

演習室

小会議室

研究開発室

吹抜

新聞資料室

倉庫

ライトコート

開架閲覧室

ホール

AVブース室

語学演習室

用品庫

P.D. 階段室

館長室

事務部長室

準備室

研修室

物品庫

情報システム課

計算機室

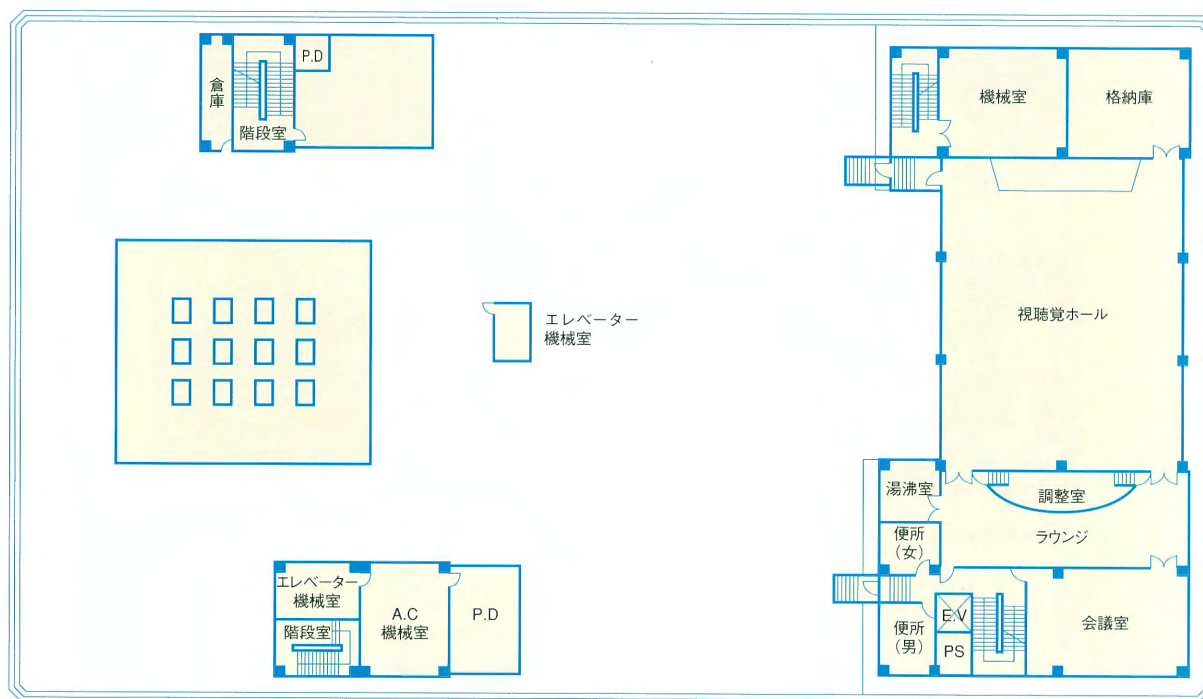
資料保管庫

印刷室

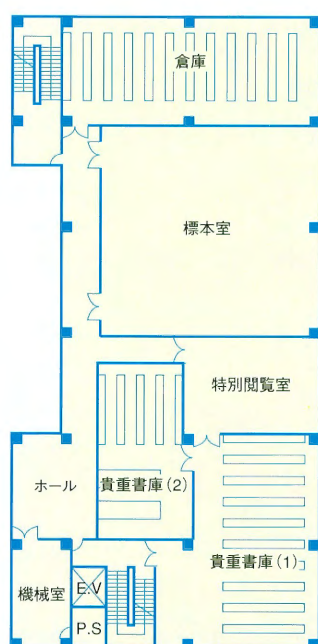
ホール

便所(女) 便所(男)

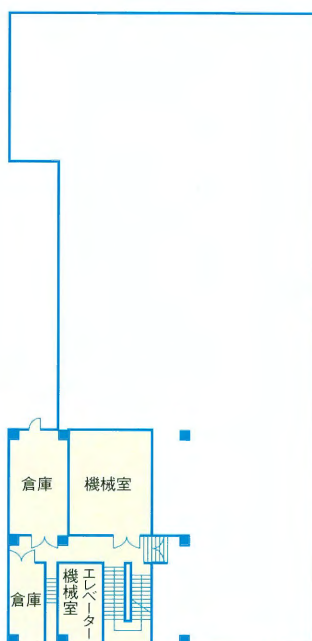
3 階平面図



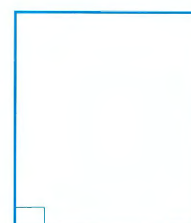
4 階 平 面 図



5 階 平 面 図



P H 階 平 面 図



R 階 平 面 図

医 学 分 館



医学分館は、病院地区の部局（大学院医学研究院、医学部附属病院、大学院歯学研究院、歯学部附属病院、大学院薬学研究院、生体防御医学研究所、医療技術短期大学部）の教職員・学生へのサービスを行う。また、昭和52年7月に文部省から、医学・生物学系外国雑誌センター館の指定を受け、学術雑誌の体系的な収集を行っている。

施 設

構 造	鉄筋3階建
延 面 積	4,216m ²
書 庫	1,293m ²
閲覧スペース	1,585m ²
事務スペース	374m ²
そ の 他	964m ²
閲覧座席数	261席

開 館 時 間

平 日 9:00～21:00
土・日曜、祝日（振替休日を含む）
9:30～17:00

休 館 日

- ① 年末年始
- ② 曝書・図書点検期間（8月中旬の1週間）

電話及びFAX

(092) 642-内線番号（ダイヤルイン）
閲覧・貸出に関する問合せ 内線6037
レファレンスの問合せ 内線6040
文献複写の問合せ 内線6039
FAX (092) 642-6041（G3）
(092) 642-6042（G3）
981-6400（G4）

所 在 地

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号

一般市民等の利用

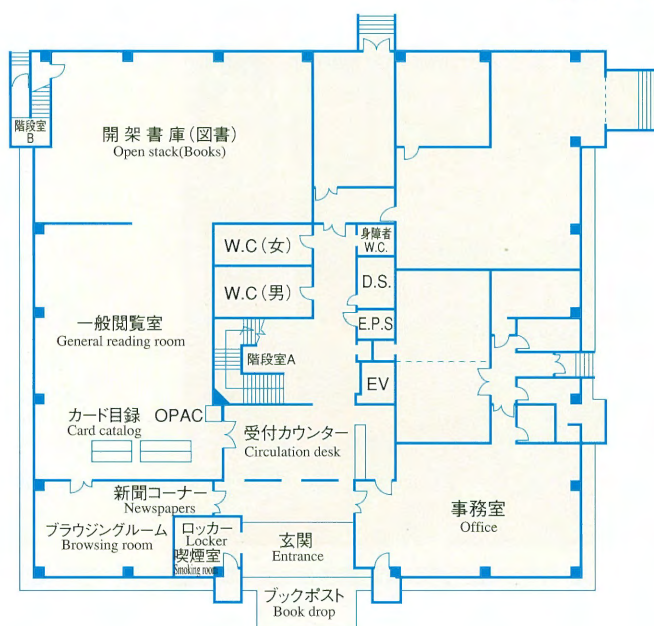
利用の範囲

館内閲覧
文献複写
レファレンス・サービス等

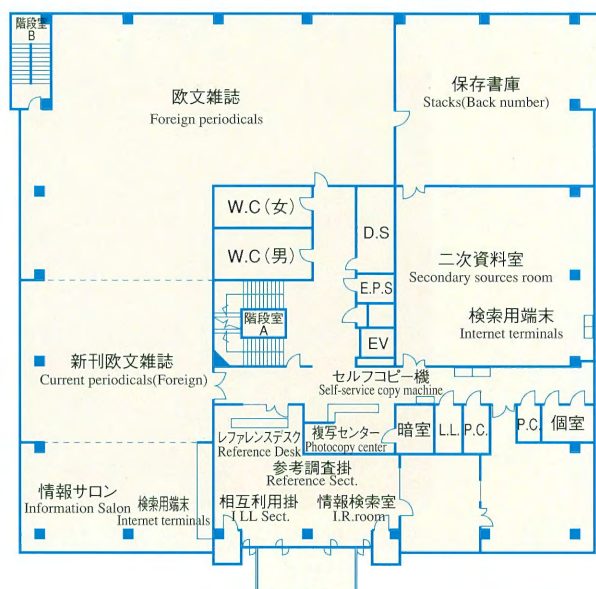
問合せ先

附属図書館医学分館閲覧掛
電話 (092) 642-6037

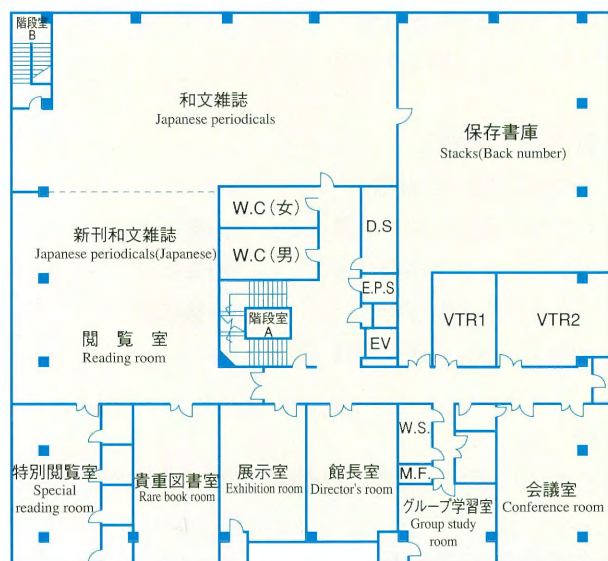
館内案内図



1 階 平 面 図



2 階 平 面 図



3 階 平 面 図

六 本 松 分 館



平成6年4月、教養部の廃止に伴い教養部分館から六本松分館に改称された。本分館は、六本松地区で共通教育科目等を履修する学部学生（1年次、2年次）及び同地区の部局等（大学院比較社会文化研究院、大学院言語文化研究院、大学教育研究センター）の教職員、学生等へのサービスを行う。

施 設

構 造	鉄筋3階建
延 面 積	5,155m ²
書 庫	1,480m ²
閲覧スペース	2,075m ²
事務スペース	423m ²
そ の 他	1,177m ²
閲覧座席数	724席

開 館 時 間

平 日	9:00~20:00
土・日曜、祝日（振替休日を含む）	10:00~17:00
ただし、春季、夏季及び冬季の各休業期間は	
平 日	9:00~17:00
土・日曜、祝日（振替休日を含む）	10:00~17:00

休 館 日

- ① 年末年始
- ② 月の初日（ただし、月の初日が土曜日、日曜日又は祝日（振替休日を含む）のときは、その直後の開館日）
- ③ 8月の土曜日、日曜日、及び中旬の1週間

- ④ 大学入試センター試験及び入学者選抜個別学内検査（前期日程）
- ⑤ 年度末図書点検日

電話及びFAX

(092) 726-内線番号（ダイヤルイン）	
閲覧・貸出に関する問合せ	内線4810
レファレンスの問合せ	内線4551
文献複写の問合せ	内線4552
FAX	(092) 726-4811（G3）

所 在 地

〒810-8560 福岡市中央区六本松4丁目2番1号

一般市民等の利用

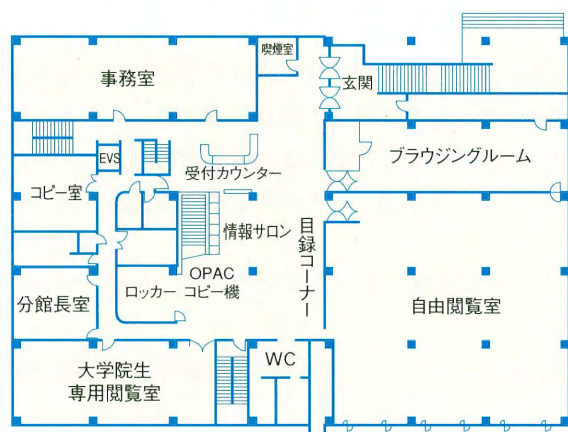
利用の範囲

館内閲覧
文献複写
レファレンス・サービス

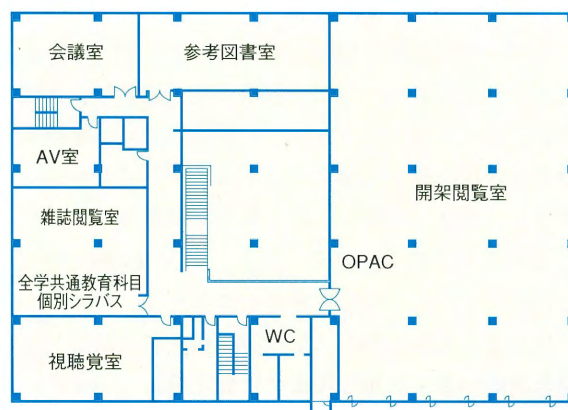
問合せ先

附属図書館六本松分館閲覧掛
電話（092）726-4810

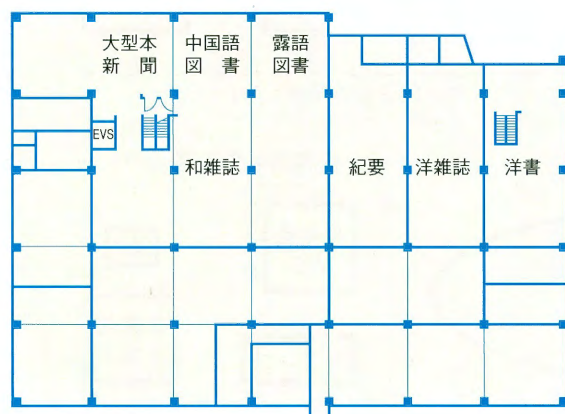
館内案内図



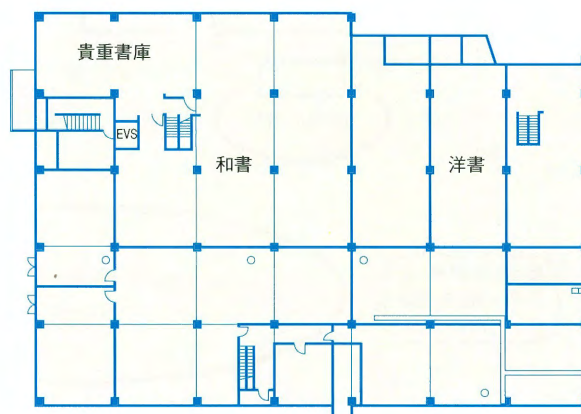
2 階 平 面 図



3 階 平 面 図



書庫1層平面図



書庫2層平面図

図書館情報システム

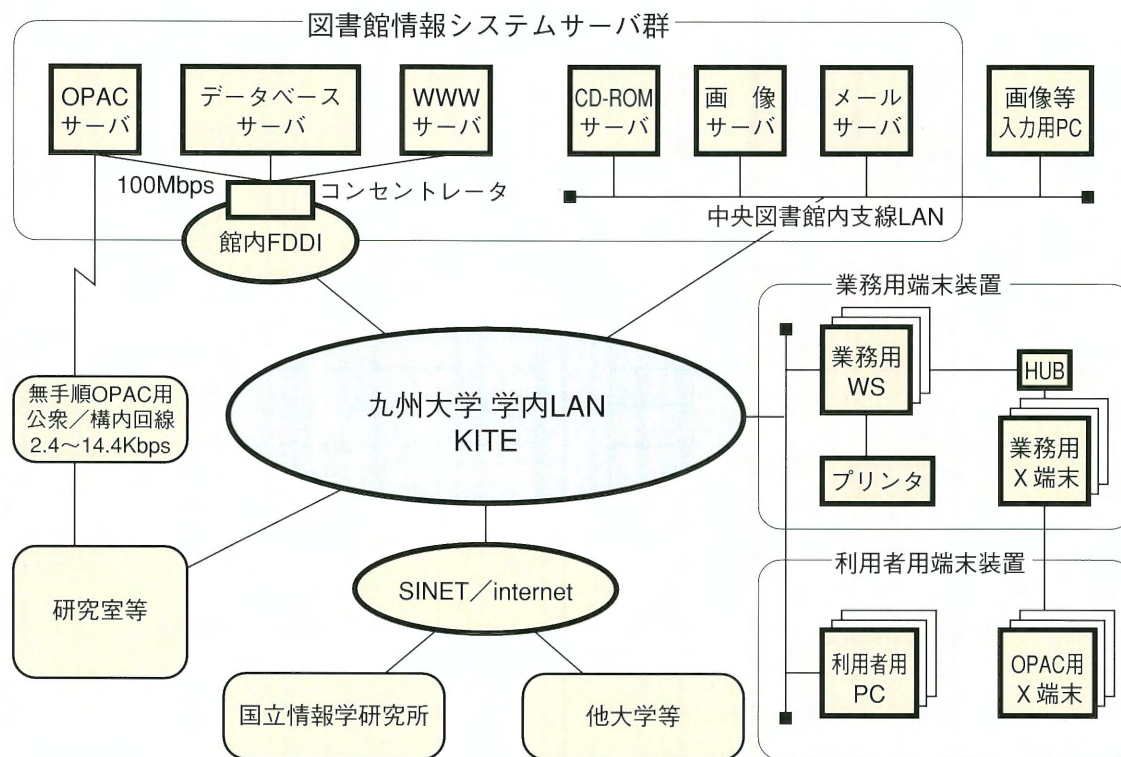
システム化の経緯

九州大学附属図書館は、昭和55年から全国の大学図書館に先駆けて北部九州地区の国立大学附属図書館ネットワークシステムとして業務電算化を開始し、書誌情報と電算資源共同整備及び共同利用を実現した。その後、コンピュータ及びネットワーク技術の発展と学術情報センターが設置されたことによる図書館情報システムの環境の変化に対応するため、平成8年3月をもって地域ネットワークを解消し、九州大学附属図書館単独のクライアントサーバモデルのシステムに変更した。

本システムの導入以降、新たにCD-ROMサーバシステム、画像蓄積システム等を導入し、ネットワーク型の情報サービス環境を整備してきた。

現在は、これらのシステム群を最大限に活用した本学固有の各種データベースの形成・提供等、電子図書館的機能の整備・拡充に積極的に取り組んでいる。

システム構成概念図



業務システム

○概要

本システムは、NEC製の大学図書館システムパッケージであるLICSU-UXを採用している。LICSU-UXは、UNIXをOSとしたクライアントサーバ方式によるオープンシステムである。

また、国立情報学研究所システムとのインターフェースはXUIPを利用しており、GUI (Graphical User Interface) 環境による操作性の向上及び業務処理の随所で同システムが利用できるようになり、柔軟な業務形態を実現している。

○処理業務

・図書受入目録

図書の発注、受入、支払管理及び目録・所在情報のデータベース構築。

・雑誌受入目録

雑誌の受付、会計、製本管理及び目録・所在情報のデータベース構築。

外国雑誌の会計処理は、中央図書館で一括処理。

・閲覧

図書館資料の貸出・返却、統計及び利用者管理。

中央図書館（理学部等・農学部を含む）、医学分館及び六本松分館で運用。

・相互利用

国立情報学研究所の ILL システムを利用した、文献複写及び相互貸借業務。

情報検索システム

○OPAC（Online Public Access Catalog）

九州大学で所蔵している図書・雑誌の検索が可能であり、WWW 版及び telnet 版の OPAC を用意している。WWW 版では、検索を支援する機能として、日英相互翻訳辞書やシソーラス辞書を利用した訳語・関連語検索を実現している。さらに、本文を電子化している一部の資料については、OPAC から全文情報や目次情報の表示・閲覧を可能にしている。平成12年5月現在、図書約84万件、雑誌約7.7万件の検索が可能であるが、引き続き遡及入力を推進し、検索可能件数の増加に努めている。

○多機関 OPAC 横断検索システム

ネットワーク上に公開されている大学図書館等の複数の OPAC を横断的に検索するシステムである。telnet、WWW で接続可能な OPAC に対して、利用者は接続方法や操作法を意識することなく同一方式による検索が可能になっている。

○全文検索システム

全文データベース化している資料に対して、任意の語による全文検索と本文の表示・閲覧を可能にするものである。

現在、雑誌の全文情報、図書館所蔵のコレクション、学内関連情報等のデータベース化を進めており、一部の資料はすでにネットワーク上で公開済である。

* 検索のページ（WWW 版 OPAC、多機関 OPAC 横断検索システム他）

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/opac.htm>

* OPAC（telnet 版）

telnet://133.5.129.2

（login 名：opac パスワード：なし）



電子化資料の検索・閲覧

九州大学附属図書館ホームページ

資料検索・閲覧

医学部研究業績集

COLLECTED PAPERS

17-18世紀国際法史・国制史コレクション

Introduction

HVGONIS GROTII
DE IVRE BELLI
AC PACIS
LIBRI TRES.

法学部所蔵
ゲーティウス「戦争と平和の法」
初版 (1625)

農学部発行
「ESAKIA」全文

大型コレクション
(読本コレクション)

古活字版源氏物語
(無刊記)

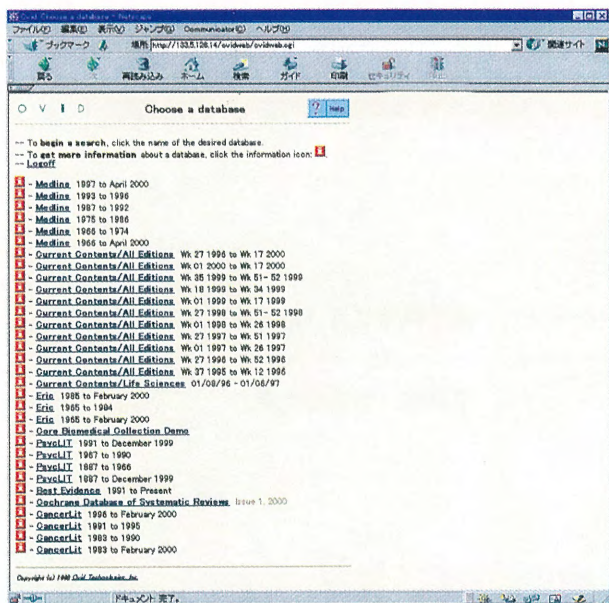
国文学関係
貴重資料画像

OPAC

全文検索

○ CD-ROM サーバシステム

附属図書館では、CD-ROM等で頒布されるデータベースを学内LANを經由して提供している。現在、次のような二次情報データベースの検索サービスを行っているが、ライセンスの関係上、利用は学内の教職員、学生に限定している。



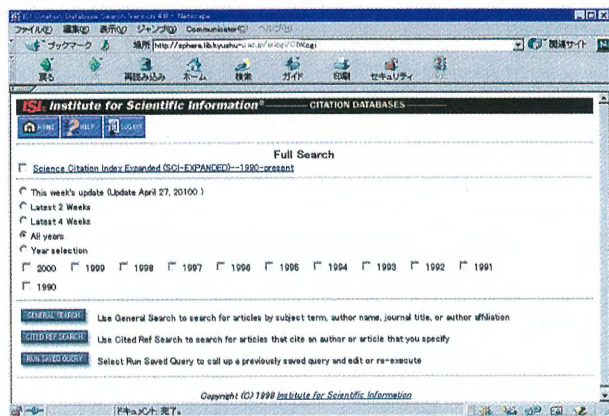
〈OVIDシステム〉

中央図書館にサーバ設置

利用申請の手続きが必要です。

学内LANから利用できます。

- ・ Current Contents : All Editions.
- ・ ERIC 1965年～最新
- ・ MEDLINE 1966年～最新
- ・ PsycLIT 1887年～最新

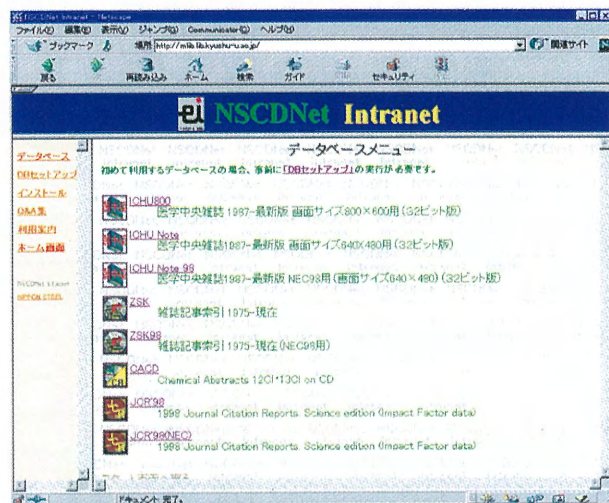


〈Web of Scienceシステム〉

情報基盤センターにサーバ設置

学内LANから利用できます。

- ・ Science Citation Index Expanded.
1990年～最新



〈NSCDNetシステム〉

医学分館にサーバ設置

学内LANから利用できます。

- ・ 医学中央雑誌 1987年～最新
- ・ Chemical Abstract Collective Index
12th-13th (1987-1996) on CD.
- ・ 雑誌記事索引 遡及版 1975年～最新
- ・ Journal Citation Reports : Science Edition
1998.

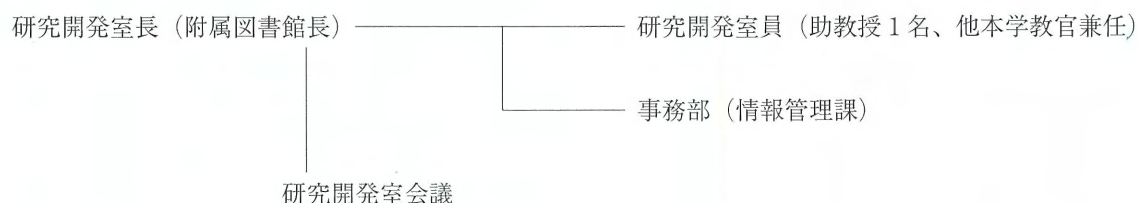
研 究 開 発

研究開発室の設置

大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う教育研究支援活動の改善に関する事項のうち、附属図書館長が命ずる事項について研究開発を行い、もって高度な図書館サービスの実現に寄与することを目的として、平成8年4月評議会決定により、九州大学附属図書館研究開発室が設置された。

研究開発室の組織

研究開発室は、次の組織により運営されている。



研 究 開 発

九州大学附属図書館では、利用者のニーズに応えるべく図書館が行う教育研究支援活動の改善・強化を図っているが、これに関する事項のうち、図書館職員だけでは対応できない高度な専門的知識を要求される事項について研究開発室員の教官を中心に精力的に研究開発を進めており、多くの成果があがっている。

平成12年度は、次の事項について研究開発を行う。

事 項	九州大学附属図書館における電子図書館システムの研究開発
氏 名	南 俊朗（研究開発室助教授） 竹田 正幸（大学院システム情報科学研究院助教授）
期 間	平成12年4月1日～平成13年3月31日
担当窓口	情報システム課電子情報掛長
事 項	九州大学附属図書館所蔵の貴重資料の画像及び書誌データベース作成に関する研究開発
氏 名	今西裕一郎（大学院人文科学研究院教授）
期 間	平成12年4月1日～平成13年3月31日
担当窓口	情報システム課図書館専門員
事 項	内外大学図書館の組織、運営及びサービスに関する調査研究
氏 名	柳原 正治（大学院法学研究院教授）
期 間	平成12年4月1日～平成13年3月31日
担当窓口	情報管理課課長補佐
事 項	韓国との間における図書館交流の推進に関する調査研究
氏 名	松原 孝俊（大学院言語文化研究院教授）
期 間	平成12年4月1日～平成13年3月31日
担当窓口	情報管理課課長補佐及び情報サービス課図書館専門員
事 項	九州大学附属図書館所蔵の古書・文書データベース構築に関する調査研究
氏 名	吉田 昌彦（大学院比較社会文化研究院教授）
期 間	平成12年4月1日～平成13年3月31日
担当窓口	六本松分館受入掛長
事 項	医学分館所蔵貴重古医書のデータベース化及び医史学的、書誌学的な調査研究
氏 名	ヴォルフガング・ミヒエル（大学院言語文化研究院教授）
期 間	平成12年4月1日～平成13年3月31日
担当窓口	医学分館図書館専門員

学内所蔵主要文庫

名 称	冊 数	所蔵部局	由 来	内 容 の 概 要
広 瀬 文 庫	10,804	中 央 図 書 館	中央図書館に寄託されていた「私立福岡図書館」の蔵書を戦後まもなく購入したもの	哲学、国史、国文関係資料(目録)
萩 野 文 庫	7,383	〃	故萩野由之教授(東大)の旧蔵書	国史関係資料(目録)
音 無 文 庫	13,792	〃	天文学者故寺尾寿博士の旧蔵書	国史、国文関係資料(目録)
碩 水 文 庫	2,991	〃	平戸藩の儒者楠本碩水氏の旧蔵書	中国哲学関係資料(目録)
長 沼 文 庫	791	〃	故長沼賢海名誉教授の旧蔵書	日本を中心とする東洋の文化史関係の資料(洋書)(目録)
細 川 文 庫	713	〃	宇土細川家の旧蔵書	国文関係(貴重書「吾妻鏡伏見版」等を含む)資料(目録)
支 子 文 庫	約10,000	〃	故田村専一郎名誉教授の旧蔵書	国史、国文関係資料
ペ ラ 文 庫	約3,800	〃	故 Charles Perrat 教授(フランス国立古文書学校)の旧蔵書	西欧中世史関係資料 シャルルペラ文庫目録を刊行(1981)
クンケル文庫	約4,800	〃	故 Wolfgang Kunkel 教授(ミュンヘン大学法学部)の旧蔵書	ローマ私法・公法・ローマ史、ギリシャ史、パピルス学などを中心にしたドイツ法史 ヴォルフガング・クンケル文庫目録を刊行(1988)
筑 紫 文 庫	3,279	文 学 部	故豊田実名誉教授の旧蔵書	日本英学史関係資料(目録)
中 山 文 庫	4,633	〃	故中山森彦名誉教授及び故中山平次郎元教授(医)の旧蔵書	美学、美術史、考古学関係資料(目録)
雪 山 文 庫	779	〃	故雪山俊夫教授(京大)の旧蔵書	ドイツ中世文学、語学関係資料(目録)
坐 春 風 文 庫	1,356	〃	ロックフェラー財団の援助により故楠本正継名誉教授が主宰された宋明思想の研究用図書	宋明思想研究関係資料(目録)
成 瀬 文 庫	2,138	〃	故成瀬正一名誉教授の寄贈書	フランス文学、語学関係資料
松 濤 文 庫	12,612	〃	故松濤泰巖名誉教授の旧蔵書	仏典とくに縁山活字本(目録)
富 田 文 庫	約600	〃	故富田仙之助氏の旧蔵書	狂歌の集書としては他に類をみない(目録)
武 内 文 庫	約600	〃	武内継治氏の寄贈書	経書が主である
榎 垣 文 庫	513	〃	故榎垣実教授の旧蔵書	方言学・方言関係文庫(目録)
西岡家蔵読本類	620	〃	肥前の儒家西岡家旧蔵書	近世後期小説の中心をなす読本
短編合巻本類	215	〃	購入図書	曲亭馬琴・山東京伝等の作品
高 瀬 文 庫	約3,200	〃	故高瀬武次郎教授(京大)の旧蔵書	漢学関係資料(目録)

名 称	冊 数	所蔵部局	由 来	内 容 の 概 要
渡 辺 文 庫	71	教育学部	故渡辺誠教授の旧蔵書	比較教育関係資料
西 山 文 庫	1,568	法 学 部	故西山重和名誉教授の旧蔵書	国際私法の古典洋書（貴重書）が多い（目録）
信 夫 文 庫	6,612	〃	信夫清三郎名誉教授の寄贈書	近代日本政治史に関する資料（目録）
菊 池 文 庫	2,021	〃	故菊池勇夫名誉教授の旧蔵書	労働法、社会法、法哲学に関する資料（目録）
具 島 文 庫	3,036	〃	具島兼三郎名誉教授の旧蔵書	現代国際政治に関する資料（目録）
国 際 文 庫	703	〃	九州国際文化協会の寄贈書	第二次大戦時における極東地域の政治・外交・文化にまたがる資料（目録）
ロートマル文庫	990	〃	故ベルン大学総長ロートマル教授の旧蔵書	ローマ法、民事法、労働法、法哲学等立法法律分野の資料
桑 木 文 庫	5,027	理 学 部	故桑木或雄名誉教授の旧蔵書	科学史全般の内外資料（目録）
西 欧 農 学 古 典 文 庫	1,175	農 学 部	故小出満二教授、故木村修三名誉教授の寄贈図書に農学部の西欧農学書を加えたもの	近代農学成立期における西欧農学書（目録）
J.L.Buck Library	161	〃	J. L. Buck、A. B. Lewis 両博士のご配慮による米国経済文化会議からの寄贈書	アメリカの大学試験場等における農業経済、マーケティング研究報告双書
湯 川 文 庫	31	〃	故湯川又夫名誉教授記念事業基金による購入図書	自然科学関係資料
奥 田 文 庫	85	〃	故奥田譲名誉教授の寄贈書	自然科学関係資料
金 原 文 庫	377	工 学 部	故金原誠教授の旧蔵書	数学関係資料
麻 生 家 文 書	15,967	石炭研究資料センター	麻生セメント株式会社からの寄託資料	大庄屋麻生家文書及び地方大手炭鉱麻生商店とその関連会社の会計帳簿
三 池 炭 鉱 労 働 組 合 資 料	5,923	〃	三池炭鉱労働組合からの寄託資料	三井鉱山三池鉱業所の旧労働組合資料
三菱端島資料	5,083	〃	三菱鉱業端島鉱業所からの寄贈資料	三菱鉱業端島鉱業所の主として第二次大戦後経営資料（会計関係を除く）
九 炭 労 資 料	606	〃	日本炭鉱労働組合九州地方本部からの寄贈資料	第二次大戦後の炭労労働運動の基本資料
濱 文 庫	2,408	六 本 松 分 館	故濱一衛名誉教授（元分館長）蒐集の旧蔵資料	中国古典戯劇関係資料（目録）
白 井 文 庫	2,081	〃	故白井正教授の旧蔵書	憲法、政治学関係資料
山 川 文 庫	405	〃	故山川丈平名誉教授の旧蔵書	ドイツ文学、ドイツ語慣用句、諺を含む資料

名 称	冊 数	所蔵部局	由 来	内 容 の 概 要
三 上 文 庫	855	六 本 松 分 館	故三上正利名誉教授（元分館長）の旧蔵書	日本、ロシア、ソ連、モンゴル、中国の地理、歴史、民族資料(目録)
長 屋 文 庫	565	〃	故長屋代蔵教授の旧蔵書	ハーマン関係、シラーとドイツ演劇関係資料
檜 垣 文 庫	約15,000	〃	故檜垣元吉名誉教授の蒐集による歴史的総合資料	中世から近世の九州を中心の歴史的総合資料群 檜垣文庫目録を刊行 中世編近世豊前国・筑後国編 近世筑前国編 近代福岡懸編 佐賀懸編 和装本編

注）（目録）は、冊子体目録あり



（国際交流コーナー）

海外衛星放送受信設備



中央図書館情報サロン図書館分室

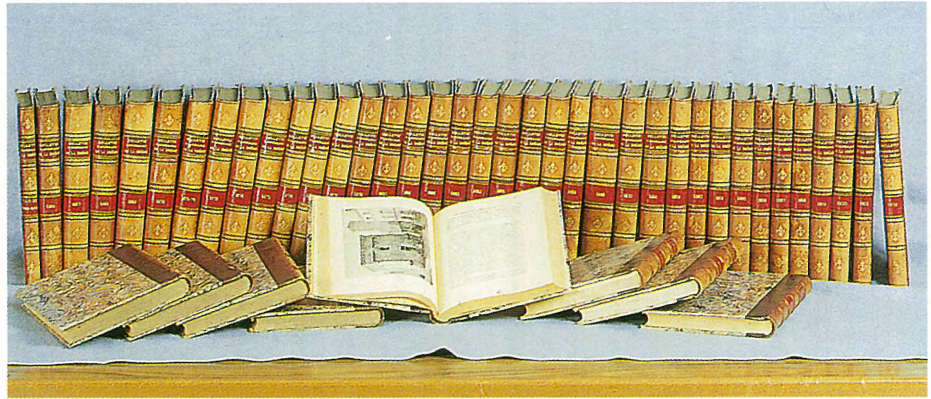


筑紫中央図書室

大型コレクション

La Collection de Charles Perrat. (シャルル・ペラ教授旧蔵書) オリジナル (昭和53年度)

フランス国立古文書学校、中世史研究の教授が収集・愛蔵した歴史補助学、特に古書体学と西洋法制史、地方史などの諸領域にわたる約3,800点の資料。



「ペラ文庫の一部」中央図書館所蔵

Deutscher Bundestag Wahlperiode. 1949-1977. (ドイツ連邦議会 (戦後分) 議事録) リプリント (昭和53年度)

ドイツ連邦議会議事録、ドイツ連邦議会公文録、第1～8被選挙期(1949～1977年)及び第1～7期索引、合計378冊

National Reporter System. 1928-1979. (米国判例体系) オリジナル (昭和54年度)

全米総合判例集は全米を8区分の地方に分けて編集されている。そのうち九州大学に所蔵しない南東・南西諸州と加州の判例集及び全判例索引。

European Official Statistical Series. 1841-1970. (欧州各国公式経済統計資料) マイクロフィッシュ (昭和54年度)

欧州23ヵ国の国民所得、国富、財政、労働、生産、貿易など41タイトルの公式経済統計資料。

石崎文庫蔵本。 オリジナル (昭和54年度)

東京帝大附属図書館司書として勤務され、「近世日本に於ける支那俗語文学史」の名著を公刊された石崎又造氏による唐話関係板本及び唐本全200部の旧蔵コレクション。

West State Statutes Annotated. (注釈付き米国各州法令集) オリジナル (昭和55年度)

アメリカの主要諸州における制定法を詳細に注釈したもので1,256冊からなる。

Hansard Parliamentary Debates.Great Britain Parliament. 1803-1976 (ハンサード英国議会議事録) オリジナル (昭和56年度)

英国の国會議事録・討議録で主に各種法律案、議会の通常・特別委員会よりの報告書、各省庁よりの報告書により構成され、それぞれの主題別に配列されたものである。

The Controller's Library Collection of Her Majesty's Stationary Office Publications. Non-Parliamentary Publications. 1922-1972. (英国政府刊行物非議会出版物：主題別 付 HMSO 刊行物検索誌)

マイクロフィルム (昭和57年度)

英国政府関係の補助法令集、報告書及び種々の分野にまたがる研究書を各関連省庁別に1922-1972年の期間にわたって系統的に収録したもので、経済関係では、資本輸出とりわけポートフォリオ投資に関する

第一次資料があり、また農・漁業、食糧庁関係のほか雇用・労働省関係・環境省・自然資源局関係、通商産業省関係など合計28分野の出版物を包含したものである。なお、本資料に付した Index は本出版物の利用上必要な検索誌である。

近世後期戯作類コレクション。 オリジナル（昭和57年度）

本コレクションは、1）洒落本 2）滑稽本類 3）咄本類 4）中本読本 5）半紙本合巻 6）狂詩類の6部門全196部、274冊もので近世後期戯作類の主要な部分を占めるものである。洒落本は特に重要な寛政期までのものが大半を占め、滑稽本では茶番や見立絵の類に珍本が多く、膝栗毛の大揃いも貴重である。中本読本も振鷺亭の作品がよく揃っており、狂詩本は全作品の八割方が集められていて最も揃っている。

百部叢書集成。 影印版（昭和57年度）

宋から清まで、中国で刊行された主要な学術研究上の叢書101種を1964年から1970年にかけて台北の芸文印書館で影印したもの。各叢後には四庫提要等より援引した書誌学的資料を付し、残欠本等は可能な限り完全な形に復元した中国研究の基本資料全7,950冊である。

The Financial Times. 1888—1981.（ファイナンシャルタイムズ誌）マイクロフィルム（昭和58年度）

1888～1981年間の政治・経済・文化にまたがる、貴重な原資料でマイクロフィルム294リールからなる。世界経済の中心国であった英国のロンドンで発行されてきたこの資料はロンドンが国際金融市場であり、またポンドが国際通貨であったことから、特に金融・国際金融・外国為替・世界経済に関する貴重な原資料である。

Revue des Deux Mondes. 1829—1968.（両世界評論）リプリント（昭和59年度）

ヨーロッパの文学、特にフランス文学、音楽、演劇、更には哲学・政治等に関する評論総合雑誌の創刊から1968年迄。

Corpus Inscriptionum Latinarum.Bd.I—XVI.（ラテン金石碑文大成、ラテン文書シリーズ）オリジナル
（昭和60年度）

旧ローマ帝国領土内に散在する古代・中世初期の金石碑文を地域別に小破片に記載されたものまで漏らさず集大成したもので、T. モムゼンの指導の下に約100年の歳月をかけて完成した。

Goldsmith's—Kress Library of Economic Literature.Segment. II.（ゴールドスミスクレス図書館所蔵社会科学文献集成第Ⅱ部）マイクロフィルム（昭和61年度）

ハーバード・サマートン・フォクスウエル（1849—1936）という経済学者の手になるコレクションを基礎にして、ゴールドスミス文庫（ロンドン大学）とクレス文庫（ハーヴァード大学）に所蔵されている15世紀～20世紀初頭にいたるまでの社会科学文献を系統的に収集したもので、時代的にも又分野の上でも収集の範囲は極めて広範にわたっている。又、稀覯本が多数含まれていることも本コレクションの特徴の一つである。約29,500点。

Doctoral Dissertations in Educational Psychology. 1982—1986.（教育心理学関係学位論文集）リプリント
（昭和62年度）

教育心理学の全分野（たとえば、発達・教育・評価・学習・カウンセリング・社会集団）にわたって、1982～1986年の5年間に米国・カナダを中心に世界の主要大学で認可された学位論文を収集した文献集である。

Medicine ; an Assortment of Rare and Interesting Books on Medicine and Related Arts. (基礎医学古医書集成) オリジナル (昭和62年度)

16世紀前半から19世紀前半に出版された医学・生物学系の図書からなり、この時代の医学発展過程の研究において極めて重要な意味を持つ約150点の資料集である。

大隈文書。 マイクロフィルム (昭和63年度)

本文書は、明治、大正時代に大蔵卿、外務卿、内閣総理大臣を歴任し、立憲改進黨の創設者でもあった大隈重信が収集保存した約1万3千余点にのぼる日本近代史の第1級資料を186リールに収めたものである。

その内容は、明治、大正期の政治外交、経済、財政、法制、交通、商業、農林、工鉱業、宗教、教育・社会、軍事、統計、外国人にわたっている。

The Collection of Thomas Aquinas Studies : Source & Development of Philosophy of Thomas Aquinas.

(トマス哲学の形成と展開－13世紀西欧哲学研究文献集成－) オリジナル (平成元年度)

現代西欧哲学理解のため不可欠とされる13世紀トマス・アキナスの著作の古刊本・研究書をはじめとして、その哲学形成の源泉となったギリシャ・ローマの思想家・教父哲学に関する著作の写本、古刊本、校訂版及びこれらの関係領域についての重要研究書・専門誌約250点から構築されている。特にトマス・アキナスの著作集の古刊本、プロティノス著作集パーゼル版等研究上重要でありながら今日入手困難なもの多数を含む。

近世木活字本コレクション。 オリジナル (平成2年度)

18世紀から19世紀(元禄期から明治期)にかけて我国で刊行された木活字による出版物271点の991冊の一大集成であり、その内容は江戸時代文化の全領域にわたっており利用価値も哲学、史学、文学の日本学すべての領域で極めて有効なものである。特にこの数量と質においては国内でも有数のものとされており、また、異版類の揃っていることはこのコレクションの大きな特徴の一つとなっている。

The Foundations of German Sociology. (ドイツ社会学の系譜コレクション) (平成4年度)

ドイツ社会学の4人の碩学 Georg Simmel, Max Weber, Werner Sombart, Max Scheler を中心に、19世紀末から現代に至るドイツ社会学の発展に尽くした学者の原著・初版本で構成されたコレクション。

近代日本キリスト教新聞集成。 (第Ⅰ期～第Ⅱ期、全252巻) マイクロフィルム (平成6年度)

明治・大正・昭和戦前期における日本のキリスト教新聞を集大成したもの。キリスト教及び外来思想の受容史のみならず、日本近代の宗教史、思想史、政治史、社会史、文化史研究にとって貴重な資料である。

17－18世紀国際法史・国制史コレクション。 オリジナル (平成7年度)

主として17～18世紀にヨーロッパで刊行された国際法・国制に関する刊本504タイトル(498冊)の集成(ラテン語及びドイツ語が大半を占める)であり、国際法の形成発展期の代表的著作を網羅し、二世紀にわたるこの分野の法学の発展を通鑑しうるコレクションである。

讀本コレクション。 オリジナル (平成7年度)

近世中期江戸戯作の出発点にあたる教訓談義本類からその延長線上にある讀本類まで、209部、744冊から成るコレクション。上方と江戸の両方に及んで極めて目配りの利いた良質のコレクションである。初印本を多く集め、板式の違う異版ものや別板・後印本もあつめられている。

ドイツ歴史学派と政治経済学コレクション。 オリジナル (平成10年度)

フライブルク大学教授をつとめ、ドイツ新歴史学派の代表者と知られるゲーアハルト・フォン・シュルツェ・ゲーヴァニッツ教授の旧蔵書を中心に収集されたコレクションである。ドイツ経済・経営史をはじめ、経済理論、経済思想史、社会政策等広範な分野の基本的で重要な文献を含む資料である。

図 書 館 公 開

中央図書館貴重文物展観

中央図書館は、昭和53年5月11日の開学記念行事に本学が所蔵する重要文化財の「大和物語」をはじめとする貴重図書の展観を行ったところ、学内・学外から好評を博した。これを契機に昭和54年度から研究者の協力をえて、毎回特定のテーマを選び、本館・学部所蔵の貴重な文献や書画類の展観を実施している。平成11年度までに実施した展観のテーマ等は次のとおりである。なお、平成4年度からは適宜公開講演会を同時に開催している。

開催回	展 観 テ ー マ と 資 料	開 催 年 度	解 説 者
第1回	中央図書館所蔵筑前郷土資料	昭和54年度	川 添 昭 二 (文学部・教授)
第2回	通貨が示す歴史の教訓	昭和54年度	荒 牧 正 憲 (経済学部・教授)
第3回	中国近世思想関係貴重漢籍	昭和54年度	荒 木 見 悟 (文学部・教授)
第4回	シャルル・ペラ文庫の片鱗	昭和55年度	森 洋 (文学部・教授)
第5回	石崎文庫	昭和55年度	中 野 三 敏 (文学部・助教授)
第6回	「日本およびアジア地方諸図」 —16～19世紀ヨーロッパ製—	昭和56年度	小 野 菊 雄 (教養部・教授)
第7回	17世紀後半～18世紀ヨーロッパ製アジア図	昭和56年度	小 野 菊 雄 (教養部・教授)
第8回	16世紀～18世紀ヨーロッパ製古地図	昭和56年度	小 野 菊 雄 (教養部・教授)
第9回	幕末から明治初期にかけての英語辞書および 英文典—文学部所蔵日本英学筑紫文庫より—	昭和56年度	大 江 三 郎 (文学部・教授)
第10回	伊勢物語とその注釈書 一名家自筆本・絵入り り版本・後水尾院関係・近世注釈—	昭和56年度	今 井 源 衛 (文学部・教授) 田 坂 憲 二 (文学部・助手)
第11回	物語文学 —竹取・大和・宇津保・源氏物語—	昭和56年度	今 井 源 衛 (文学部・教授)
第12回	歌論書とその周辺 —俊頼から幽斉まで—	昭和57年度	辛 島 正 雄 (文学部・助手)
第13回	古訓点資料	昭和57年度	迫 野 虔 徳 (文学部・助教授)
第14回	九州俳書	昭和57年度	中 野 三 敏 (文学部・教授)
第15回	近世小説	昭和57年度	中 野 三 敏 (文学部・教授)
第16回	絵双紙の変遷	昭和58年度	中 野 三 敏 (文学部・教授)
第17回	平安後期物語とその周辺	昭和58年度	辛 島 正 雄 (文学部・助手)
第18回	秋月藩の藩政文書	昭和58年度	柴 多 一 雄 (文学部・助手)
第19回	江戸時代の村方文書 —備中国浅口郡乙島守屋家文書—	昭和58年度	柴 多 一 雄 (文学部・助手)
第20回	筑前の浦方文書 —筑前国粕屋郡箱崎浦山崎家文書—	昭和59年度	柴 多 一 雄 (文学部・助手)

開催回	展 観 テ ー マ と 資 料	開 催 年 度	解 説 者
第21回	桑木文庫に見る江戸時代における我国近代化への準備ー中国数学の摂取ー	昭和59年度	梶 原 譲 二 (理学部・教授)
第22回	桑木文庫に見る江戸時代における我国近代化への準備ー西洋数学に先行した和算の業績ー	昭和59年度	梶 原 譲 二 (理学部・教授)
第23回	西欧農学古典文庫の解題	昭和59年度	岩 片 磯 雄 (農学部・教授)
第24回	西欧農学古典文庫の解題ー英書2ー	昭和59年度	岩 片 磯 雄 (農学部・教授)
第25回	西欧農学古典文庫の解題ー独書1ー	昭和60年度	岩 片 磯 雄 (農学部・教授)
第26回	西欧農学古典文庫の解題ー独書2ー	昭和60年度	岩 片 磯 雄 (農学部・教授)
第27回	経済学の黎明期／イギリス重商主義	昭和60年度	関 源太郎 (経済学部・助教授)
第28回	古典派経済学の形成・展開と初期社会主義思想	昭和61年度	関 源太郎 (経済学部・助教授)
第29回	細川文庫の勅撰和歌集	昭和61年度	今 西 裕一郎 (文学部・助教授)
第30回	労謙洞文庫	昭和61年度	荻 野 喜 弘 (石炭研究資料センター・助教授)
第31回	『ローマ法大全』関係図書	平成2年度	西 村 重 雄 (法学部・教授)
第32回	『トマス・アキナス』関係図書	平成3年度	稲 垣 良 典 (文学部・教授)
第33回	蒙古襲来絵詞を中心とした郷土資料	平成4年度	川 添 昭 二 (九州大学名誉教授)
第34回	法隆寺壁画とその周辺 (開学記念貴重文物展観)	平成5年度	菊 竹 淳 一 (文学部・助教授)
第35回	源氏物語 (開学記念貴重文物展観)	平成6年度	今 西 裕一郎 (文学部・助教授)
第36回	奈良絵本 (開学記念貴重文物展観)	平成7年度	今 西 裕一郎 (文学部・助教授)
第37回	「伊勢物語の本」ー写本から版本ー (開学記念貴重文物展観)	平成8年度	今 西 裕一郎 (文学部・助教授)
第38回	中世の博多と東アジアー文書・絵画・考古資料展ー (開学記念貴重文物展観)	平成9年度	佐 伯 弘 次 (文学部・助教授)
第39回	「東西の古医書に見られる身体」ー九州大学所蔵の資料からー (開学記念貴重文物展観)	平成10年度	ヴォルフガング・ミヒエル (言語文化部・教授)
第40回	「韓国を知る、日本を知る」ー江戸時代から21世紀の国際交流を考えるー (開学記念貴重文物展観)	平成11年度	松 原 孝 俊 (言語文化部・教授)
第41回	「平安朝文学入門」ー竹取・伊勢・源氏の世界ー (開学記念貴重文物展観)	平成12年度	今 西 裕一郎 (大学院人文科学研究科・教授)

国立大学図書館協議会公開事業

開催年度	展 示 テ ー マ と 資 料	解 説 者
平成8年度	幕末・明治期古写真等資料展ー忘れられた日本の風景、風俗ー よみがえる福岡の炭坑ー明治期の写真・炭坑札・地図展ー (併設展)	東 定 宣 昌 (石炭研究資料センター教授)

中央図書館貴重図書展示

開催回	展 示 テ ー マ	期 間
第1回	1枚の絵葉書（オリジナル）から — トーマス・マン関係資料展 — 展示資料：24点59冊	平成9年11月10日 ～12月25日
第2回	奈良絵本資料展（第1部） 展示資料：竹取物語、伊勢物語、源氏物語、曾我物語、 うつほ物語、中将姫	平成10年2月3日 ～2月26日
第3回	奈良絵本資料展（第2部） 展示資料：たまも、文正物語、御曹子島渡り、 酒呑童子絵詞、たなばた	平成10年3月3日 ～3月30日
第4回	古地図展 — ヨーロッパから見たアジア・日本 —（第1部） 展示資料：アジア図、日本諸島図、新アジア図、 日本王国図、68州に区分された日本帝国図	平成10年6月2日 ～6月30日
第5回	古地図展 — ヨーロッパから見たアジア・日本 —（第2部） 展示資料：大タルタリア・大モンゴル帝国・日本及び中国図、 アジア図、「中国・タタール、朝鮮及び日本王国全図」	平成10年7月2日 ～7月30日

中央図書館公開講演会

開催回	講 演 会 テ ー マ	開 催 日	講 演 者
第1回	蒙古襲来絵詞と竹崎季長	平成4年11月6日	川 添 昭 二（九州大学名誉教授）
第2回	源氏物語の本	平成6年5月11日	今 西 裕一郎（文学部・助教授）
第3回	「伊勢物語」の本—写本から版本へ—	平成8年5月10日	今 西 裕一郎（文学部・助教授）
第4回	中世の博多と東アジア — 文書・絵図・考古資料から —	平成9年5月9日	佐 伯 弘 次（文学部・助教授）
第5回	東西の古医書に見られる身体 — 九州大学所蔵の資料から —	平成10年5月11日	ヴォルフガング・ミヒエル（言語文化 部・教授）
第6回	「命を五年縮候」 — 雨森芳洲と日韓文化交流 —	平成11年5月11日	松 原 孝 俊（言語文化部・教授）
第7回	「平安朝文学の楽しみ方」	平成12年5月11日	今 西 裕一郎（大学院人文科学研究 院・教授）

貴重文物展観風景▶



各種統計

○蔵書数及び図書受入数

和 洋 別 所蔵箇所		蔵 書 数 (平成12年 3 月31日)			図 書 受 入 数 (平成11年度)		
		和 漢 書	洋 書	計	和 漢 書	洋 書	計
中央図書館	中央図書館	332,349	100,197	432,546	3,504	1,848	5,352
	理学部	37,613	138,022	175,635	367	3,883	4,250
	農学部	133,494	135,844	269,338	1,154	973	2,127
	計	503,456	374,063	877,519	5,025	6,704	11,729
医学分館		132,007	173,628	305,635	2,140	2,595	4,735
六本松分館		262,519	136,889	399,408	6,749	3,365	10,114
文学部		327,545	159,676	487,221	4,101	2,211	6,312
教育学部		51,024	52,713	103,737	794	590	1,384
法学部		136,778	172,101	308,879	2,207	3,086	5,293
経済学部		148,456	138,111	286,567	1,001	2,964	3,965
薬学部		5,556	17,239	22,795	14	33	47
工学部		158,619	220,052	378,671	1,566	2,204	3,770
大学院総合理工学研究科		26,919	34,336	61,255	87	242	329
応用力学研究所		19,860	23,392	43,252	277	261	538
機能物質科学研究所		5,631	10,413	16,044	63	270	333
健康科学センター		4,640	2,841	7,481	11	42	53
中央分析センター		240	574	814	0	0	0
生体防御医学研究所		7,938	12,738	20,676	103	472	575
石炭研究資料センター		34,337	3,250	37,587	114	5	119
※大型計算機センター		1,824	4,111	5,935	2	226	228
事務局		3,447	474	3,921	—	—	—
合 計		1,830,796	1,536,601	3,367,397	24,254	25,270	49,524

※平成12年4月1日から、情報基盤センターに改組

○年間開館日数及び入館者数 (平成11年度)

区 分	中央図書館	医学分館	六本松分館
年間開館日数	平日	226	237
	土曜	45	49
	日曜・祝日	56	62
	計	327	348
入館者数	334,762	158,951	178,337
入館者数計	672,050		

○文献複写件数及び図書館間図書貸借件数 (平成11年度)

区 分	中央図書館	医学分館	六本松分館	合 計
文献複写数	受付	15,265	41,185	56,909
	依頼	4,578	6,146	11,448
	計	19,843	47,331	68,357
図件書貸借数	貸出	1,756	92	2,379
	借受	963	64	1,429
	計	2,719	156	3,808

○雑誌所蔵種類数及び雑誌受入種類数

和 洋 別 所 蔵 箇 所		雑誌所蔵種類数（12年3月31日）			雑誌受入種類数（平成11年度）		
		和 雑 誌	洋 雑 誌	計	和 雑 誌	洋 雑 誌	計
中央図書館	中央図書館	8,747	2,391	11,138	2,184	202	2,386
	理学部	1,425	4,230	5,655	396	1,247	1,643
	農学部	4,514	4,752	9,266	2,177	1,257	3,434
	計	14,686	11,373	26,059	4,757	2,706	7,463
医学分館		1,912	6,194	8,106	1,283	1,999	3,282
六本松分館		2,573	1,647	4,220	1,217	586	1,803
文学部		4,926	1,591	6,517	3,418	507	3,925
教育学部		1,480	633	2,113	1,089	188	1,277
法学部		2,064	2,126	4,190	754	340	1,094
経済学部		3,642	1,942	5,584	1,119	495	1,614
薬学部		135	148	283	26	81	107
工学部		2,145	5,297	7,442	637	1,131	1,768
大学院総合理工学研究科		242	100	342	242	98	340
応用力学研究所		836	752	1,588	621	292	913
機能物質科学研究所		375	146	521	317	133	450
健康科学センター		240	60	300	229	26	255
中央分析センター		1	3	4	0	2	2
生体防御医学研究所		326	340	666	125	109	234
石炭研究資料センター		393	23	416	152	0	152
大型計算機センター		66	48	114	66	48	114
事務局		60	10	70	—	—	—
合 計		36,102	32,433	68,535	16,052	8,741	24,793

○参考業務受付件数

（平成11年度）

中央図書館	医学分館	六本松分館	合 計
5,473	14,750	9,432	29,655

○館外貸出冊数

（平成11年度）

区 分		教職員	学 生	学外者	合 計
中央図書館	中央図書館	2,521	50,303	419	53,243
	理学部	1,935	8,042	135	10,112
	農学部	11,822	1,248	136	13,206
	計	16,278	59,593	690	76,561
医学分館		12,470	23,964	0	36,434
六本松分館		8,637	30,083	0	38,720
合 計		37,385	113,640	690	151,715

配置図

箱崎地区



病院地区



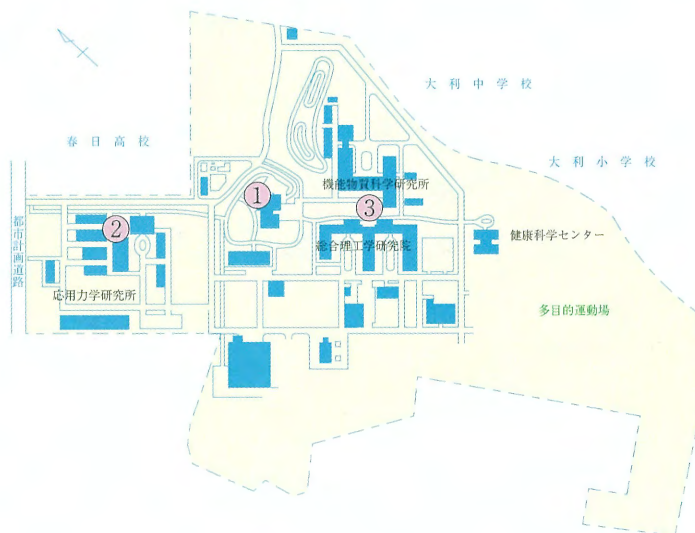
六本松地区

比較社会文化研究院
言語文化研究院
大学教育研究センター



① 附属図書館六本松分館

筑紫地区



- ① 筑紫中央図書館
- ② 応用力学研究所図書館
- ③ 機能物質科学研究所図書館

案 内 図

博多駅から案内 [所要時間30～40分]		
箱 崎 地 区	バス⑩番系統	九大前下車
	バス②⑨⑤番系統	箱崎松原、九大北門下車
	地下鉄	箱崎九大前下車
病 院 地 区	バス⑩②③番系統	県庁・九大病院前、警察本部前下車
	地下鉄	馬出九大病院前下車
六 本 松 地 区	バス⑬～⑰、⑳～㉑番系統	六本松下車
筑 紫 地 区	鹿児島本線	大野城下車

